

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月22日

上場会社名 滝沢ハム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2293 URL <http://www.takizawaham.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧澤太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 山口 輝 (TEL) 0282-23-5640
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	29,580	△7.3	△86	—	△46	—	△146	—
2019年3月期	31,922	△6.8	121	△72.5	157	△67.2	92	△70.0

(注) 包括利益 2020年3月期 △215百万円(—%) 2019年3月期 △67百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	△71.24	—	—	△0.3	△0.3
2019年3月期	44.92	—	2.4	1.1	0.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	13,088	3,502	26.8	1,705.46
2019年3月期	14,170	3,748	26.5	1,825.29

(参考) 自己資本 2020年3月期 3,502百万円 2019年3月期 3,748百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	448	△198	△555	1,611
2019年3月期	1,317	△259	△646	1,917

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	30	33.4	0.8
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00	—	30.8	—

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,700	0.0	15	—	30	—	10	—	4.87
通期	30,900	4.5	90	—	140	—	100	—	48.69

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
 新規 一社（社名） — 、除外 一社（社名） —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2020年3月期	2,102,000株	2019年3月期	2,102,000株
2020年3月期	48,369株	2019年3月期	48,296株
2020年3月期	2,053,654株	2019年3月期	2,053,704株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	27,325	△7.3	△120	—	△91	—	△151	—
2019年3月期	29,475	△7.1	95	△76.6	136	△69.1	80	△71.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	△73.61		—					
2019年3月期	39.37		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	12,442	3,259	26.2	1,587.15
2019年3月期	13,423	3,543	26.4	1,725.59

(参考) 自己資本 2020年3月期 3,259百万円 2019年3月期 3,543百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,100	4.5	70	—	50	—	24.35
通 期	29,200	6.9	195	—	155	—	75.48

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結貸借対照表関係)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当連結会計年度に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、底堅い設備投資や雇用・所得環境の改善など緩やかな回復基調で推移してきましたが、年明け以降新型コロナウイルスの感染拡大により国内外の経済は急速に悪化し、依然として先行き不透明な状況となっております。

当業界におきましては、消費者の根強い節約志向が続く中で、物流コストや人件費の上昇、消費増税による消費者の購買意欲の停滞や相次ぐ自然災害の影響などにより、厳しい経営環境となりました。

このような状況の中で、当社グループは、「お取引先と消費者から見て質の高い会社にする」という基本的な考えのもと、営業部門におきましては、チーム営業による提案型営業の推進により取引先との関係強化に努めるとともに、外食業態等への販路開拓など業務用商品の拡販を行ってまいりました。生産部門におきましては、当社独自商品の開発や小集団活動、自動化の推進による生産性及び安全性の更なる向上に取り組んでまいりました。食肉部門におきましては、こだわりの国産豚の拡販や輸入肉の仕入力強化を図ってまいりました。

しかしながら、ハム・ソーセージ等の食肉加工品と食肉では国産輸入共に豚肉の売上の伸び悩みにより、当連結会計年度の売上高は295億80百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

損益面につきましては、売上の減少を主因に営業損失86百万円（前年同期1億21百万円の営業利益）、経常損失46百万円（前年同期1億57百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する当期純損失1億46百万円（前年同期92百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

部門別の概況は次のとおりであります。

食肉加工品部門

食肉加工品部門につきましては、企業間の価格競争の激化が続き、ハム・ソーセージ等の売上が前年を下回りました。この結果、この部門の売上高は124億9百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

惣菜その他加工品部門

惣菜その他加工品部門につきましては、ハンバーグ類が伸び悩んだため、売上高は減少いたしました。この結果、この部門の売上高は43億60百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

食肉部門

食肉部門につきましては、国産豚肉の販売低迷や輸入肉などの価格競争が激しく、売上は減少いたしました。この結果、この部門の売上高は126億61百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

その他部門

その他部門につきましては、売上高は1億48百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

② 販売実績

当連結会計年度における販売実績を事業部門別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

事業部門別	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	比較増減	前年同期比 (%)
食肉加工品	13,582,196	12,409,237	△1,172,959	91.4
惣菜その他加工品	4,708,972	4,360,858	△348,114	92.6
食肉	13,482,708	12,661,311	△821,397	93.9
その他	148,892	148,695	△196	99.9
合計	31,922,769	29,580,101	△2,342,667	92.7

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産・負債

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末と比べ10億82百万円減少し130億88百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金と現金及び預金が減少したことによるものであります。

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末と比べ8億36百万円減少し95億85百万円となりました。これは、主に買掛金の減少によるものであります。

② 純資産

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度と比べ2億46百万円減少し35億2百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失の計上と株価の下落によりその他投資有価証券評価差額金が減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ3億6百万円減少し16億11百万円（前年同期比16.0%減）となりました。

営業活動の結果得られた資金は4億48百万円（前年同期比66.0%減）となりました。これは主に、売上債権の減少によるものであります。

投資活動の結果支出した資金は1億98百万円（前年同期比23.3%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものであります。

財務活動の結果支出した資金は5億55百万円（前年同期比14.1%減）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が減少したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	24.8	26.1	25.7	26.5	26.8
時価ベースの自己資本比率(%)	36.3	44.0	48.5	45.3	45.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	14.1	4.4	11.5	4.3	12.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	6.7	24.2	11.2	27.3	10.1

自己資本比率：自己資本／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大から、世界規模で経済・社会活動に大きな影響が発生し、長期化の様相により先行き不透明な状況が続くものと思われま

す。当業界におきましては、緊急事態宣言以降に変化し始めた消費動向、失業率の上昇や社会不安からの消費低迷、また、輸入原料の安定確保への懸念など、業界を取り巻く環境はさらに厳しい状況になることが予想されます。

このような状況におきまして、当社グループは、「お取引先の役に立つ為の仕事をする」を今年度の基本方針とし、変化に対応したお客様が求める商品の開発と拡販に取り組み、収益力の改善を図ってまいります。

営業面におきましては、引き続きチーム営業による提案型営業の推進、新規チャネルや協業による販路開拓で売上の拡大を図ってまいります。生産面につきましては、ISO22000や小集団活動により更なる品質の向上、集中生産による生産性と職場環境の改善に努めてまいります。仕入面につきましては、新たな産地開拓への挑戦、優位性のある安定した原料の確保に努めてまいります。

以上の施策により通期の業績につきましては、売上高309億円、営業利益90百万円、経常利益1億40百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億円を見込んでおります。

なお、上記見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の現時点で見込める影響を考慮しておりますが、今後の状況により業績予想の修正をする可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内同業他社との比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、コストベネフィットを比較考量した結果や海外展開していない現況を踏まえ、当面適用しないとの結論に至っております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,149,955	1,843,487
受取手形及び売掛金	3,292,544	2,844,604
商品及び製品	970,455	998,884
仕掛品	165,519	170,477
原材料及び貯蔵品	213,763	219,024
その他	79,164	98,684
流動資産合計	6,871,402	6,175,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,099,418	6,069,399
減価償却累計額	△4,158,093	△4,267,719
建物及び構築物(純額)	1,941,324	1,801,680
機械装置及び運搬具	1,561,863	1,569,942
減価償却累計額	△1,300,068	△1,320,238
機械装置及び運搬具(純額)	261,795	249,704
工具、器具及び備品	418,650	437,006
減価償却累計額	△261,331	△300,620
工具、器具及び備品(純額)	157,319	136,385
土地	1,647,216	1,647,004
リース資産	3,014,682	3,329,089
減価償却累計額	△1,486,792	△1,896,656
リース資産(純額)	1,527,889	1,432,433
建設仮勘定	-	385
有形固定資産合計	5,535,544	5,267,593
無形固定資産	70,940	111,035
投資その他の資産		
投資有価証券	1,483,470	1,323,171
その他	214,364	216,189
貸倒引当金	△5,390	△5,037
投資その他の資産合計	1,692,443	1,534,324
固定資産合計	7,298,928	6,912,952
資産合計	14,170,331	13,088,115

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,703,623	2,380,119
短期借入金	2,846,264	2,809,088
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
リース債務	411,492	436,772
未払金	713,675	678,705
未払法人税等	27,100	37,801
賞与引当金	130,315	109,039
役員賞与引当金	3,738	8,823
その他	448,820	245,101
流動負債合計	7,325,029	6,745,450
固定負債		
社債	320,000	280,000
長期借入金	809,158	803,400
リース債務	1,255,165	1,131,896
繰延税金負債	80,414	47,557
役員退職慰労引当金	140	328
執行役員退職慰労引当金	5,218	7,944
退職給付に係る負債	427,867	370,022
その他	198,738	199,126
固定負債合計	3,096,702	2,840,275
負債合計	10,421,732	9,585,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080,500	1,080,500
資本剰余金	684,424	684,424
利益剰余金	1,641,564	1,464,465
自己株式	△4,575	△4,799
株主資本合計	3,401,913	3,224,590
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	386,540	282,594
退職給付に係る調整累計額	△39,854	△4,794
その他の包括利益累計額合計	346,685	277,799
純資産合計	3,748,599	3,502,390
負債純資産合計	14,170,331	13,088,115

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	31,922,769	29,580,101
売上原価	26,277,152	24,339,517
売上総利益	5,645,616	5,240,584
販売費及び一般管理費	5,523,634	5,327,188
営業利益又は営業損失(△)	121,982	△86,604
営業外収益		
受取利息	186	155
受取配当金	29,875	30,475
補助金収入	12,675	8,822
受取賃貸料	26,188	32,550
その他	30,008	21,953
営業外収益合計	98,932	93,958
営業外費用		
支払利息	48,624	43,862
支払手数料	15,000	-
支払補償費	-	10,000
その他	126	241
営業外費用合計	63,751	54,103
経常利益又は経常損失(△)	157,164	△46,749
特別利益		
投資有価証券売却益	16,605	1,616
損害賠償金収入	6	-
受取保険金	-	90,567
特別利益合計	16,611	92,183
特別損失		
固定資産除却損	16,493	12,780
投資有価証券評価損	-	15,623
減損損失	904	26,328
訴訟関連費用	4,866	21,729
特別退職金	-	10,000
災害による損失	-	62,735
特別損失合計	22,263	149,197
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	151,511	△103,763
法人税、住民税及び事業税	49,431	30,433
法人税等調整額	9,822	12,097
法人税等合計	59,254	42,530
当期純利益又は当期純損失(△)	92,257	△146,293
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	92,257	△146,293

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	92,257	△146,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△157,239	△103,946
退職給付に係る調整額	△2,115	35,059
その他の包括利益合計	△159,354	△68,886
包括利益	△67,096	△215,180
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△67,096	△215,180

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,080,500	684,424	1,600,650	△4,575	3,360,998
当期変動額					
剰余金の配当			△51,342		△51,342
親会社株主に帰属する当期純利益			92,257		92,257
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	40,914	—	40,914
当期末残高	1,080,500	684,424	1,641,564	△4,575	3,401,913

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	543,779	△37,739	506,040	3,867,039
当期変動額				
剰余金の配当				△51,342
親会社株主に帰属する当期純利益				92,257
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△157,239	△2,115	△159,354	△159,354
当期変動額合計	△157,239	△2,115	△159,354	△118,439
当期末残高	386,540	△39,854	346,685	3,748,599

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,080,500	684,424	1,641,564	△4,575	3,401,913
当期変動額					
剰余金の配当			△30,805		△30,805
親会社株主に帰属する当期純利益			△146,293		△146,293
自己株式の取得				△223	△223
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	△177,099	△223	△177,323
当期末残高	1,080,500	684,424	1,464,465	△4,799	3,224,590

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	386,540	△39,854	346,685	3,748,599
当期変動額				
剰余金の配当				△30,805
親会社株主に帰属する当期純利益				△146,293
自己株式の取得				△223
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△103,946	35,059	△68,886	△68,886
当期変動額合計	△103,946	35,059	△68,886	△246,209
当期末残高	282,594	△4,794	277,799	3,502,390

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	151,511	△103,763
減価償却費	672,870	703,382
減損損失	904	26,328
引当金の増減額(△は減少)	△36,092	△13,630
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11,615	△22,785
受取利息及び受取配当金	△30,061	△30,631
支払利息	48,624	43,862
固定資産除却損	16,493	12,780
投資有価証券評価損益(△は益)	-	15,623
投資有価証券売却損益(△は益)	△16,605	△1,616
損害賠償金収入	△6	-
受取保険金	-	△90,567
訴訟関連費用	4,866	21,729
特別退職金	-	10,000
災害損失	-	62,735
支払補償費	-	10,000
売上債権の増減額(△は増加)	509,058	448,948
たな卸資産の増減額(△は増加)	517,079	△38,648
仕入債務の増減額(△は減少)	△536,272	△323,504
未払消費税等の増減額(△は減少)	151,646	△143,176
その他	79,819	△38,047
小計	1,522,223	549,018
利息及び配当金の受取額	30,061	30,631
損害賠償金の受取額	6	-
保険金の受取額	-	20,376
訴訟関連費用の支払額	△4,866	△21,729
災害損失の支払額	-	△53,471
支払補償費の支払額	-	△10,000
利息の支払額	△48,215	△44,526
法人税等の支払額	△181,945	△22,235
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,317,262	448,063
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△4,968	△5,095
投資有価証券の売却による収入	24,071	2,486
有形固定資産の取得による支出	△269,910	△119,782
固定資産の除却による支出	△8,898	△4,953
無形固定資産の取得による支出	-	△67,554
貸付けによる支出	△1,800	△5,662
貸付金の回収による収入	2,345	1,700
定期預金の増減額(△は増加)	△19	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△259,179	△198,880

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	-
長期借入れによる収入	590,000	520,000
長期借入金の返済による支出	△658,842	△562,934
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
リース債務の返済による支出	△386,614	△441,341
配当金の支払額	△51,285	△31,171
その他	-	△223
財務活動によるキャッシュ・フロー	△646,742	△555,670
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	411,341	△306,487
現金及び現金同等物の期首残高	1,506,447	1,917,788
現金及び現金同等物の期末残高	1,917,788	1,611,300

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結貸借対照表関係)

偶発債務

(1) 当社は、2018年11月19日にスターゼン株式会社より株式会社シンコウフーズと共同で訴訟の提起を受けました。当該訴訟は、株式会社シンコウフーズが保有する特定加熱食肉製品の製造方法に関する特許権（特許第5192595号）を侵害するとして、同製品の製造・販売等の差し止め及び損害賠償請求を内容とするものであり、東京地方裁判所で係争中であります。

なお、本件訴訟が当社グループの今後に与える影響につきましては、現時点で合理的に予測することは困難であります。

(2) 当社は、2019年9月17日に債務不履行に基づく建物明渡等の訴訟を受けました。当該訴訟は、当社の直売店である「レッケルバルト栃木本店」が賃借している土地建物の一部について明け渡しの請求を受けているもので、宇都宮地方裁判所栃木支部において係争中であります。

なお、本件訴訟が当社グループの今後に与える影響につきましては、現時点で合理的に予測することは困難であります。

(セグメント情報等)

当社グループは、食肉加工品・惣菜その他加工品の製造及び販売、食肉の加工及び販売並びにこれに付随する業務を事業内容としており、これらを統合し食肉及び食肉加工品の製造・販売を単一のセグメントとして事業を行っております。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,825円29銭	1,705円46銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	44円92銭	△71円24銭

(注) 1 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	92,257	△146,293
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は 当期純損失(△) (千円)	92,257	△146,293
普通株式の期中平均株式数 (千株)	2,053	2,053

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	3,748,599	3,502,390
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	3,748,599	3,502,390
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (千株)	2,053	2,053

(重要な後発事象)

該当事項はありません。